

書籍『幸せなチームが結果を出す』の増刷が決定

メンバーが皆幸せに働きながら結果を出すことができるチームの共通点が話題に

株式会社ポーラ 代表取締役 及川 美紀と、EVOL株式会社 代表取締役CEO・一般社団法人ウェルビーイングデザイン理事の前野マドカ氏との共著で2023年9月に発行した書籍『幸せなチームが結果を出す ウェルビーイング・マネジメント7か条』の増刷が、好評により決定しました。

本書はウェルビーイングの基本や幸福が組織と働く人・生産性に与える影響への最新知見の他、ポーラ幸せ研究所の調査と分析により導き出した、働くメンバー全員が幸せに仕事を楽しみ、結果を出す、チームの共通点を“幸せなチームづくり7か条”にまとめ、実践事例までを詳しく紹介したものです。

■読者の声

- ・「幸せな職場＝ぬるい職場じゃない」、まさしく同感。
- ・すぐに実践できることが書いてあり、参考にしやすい。
- ・ウェルビーイング・マネジメント7か条は、職場だけでなく、家族にも当てはまると思った。
- ・リーダーが幸せでもメンバーが幸せじゃないと数字の結果が出ず、リーダーもメンバーも幸せだと数字もついてくるという比較表が秀逸。
- ・「リーダーシップとは」と疑問を感じていたところだったので、すごくヒントをもらった。自分もメンバーも幸せなリーダーを目指したいし、後輩達にもこのノウハウを伝えてあげたい。



(幸福度が高く、成果も出しているオーナーは5つのポイントで違いがある)

「本人の幸福度が高く、成果を出しているオーナー」が「幸福度低く、成果を出していないオーナー」と比べて、5つのポイントで違いがある。この違いを「幸せなチームづくり7か条」としてまとめた。

幸福度が高く、成果も出しているオーナー	幸福度は高いが成果が低いオーナー
想った通りに実行するが、相手にとっては受けが悪い	自分がやるという空気を醸成している。相手の立場を考慮している
情勢が変化し、想った通りに実行しない	主体的に、私が率先して動く
いいチームづくりのために足元を固める	行動
結果に対して、自分やチームを責め、反省し、次に活かす	内省/改善意識
お言葉に甘えず、ベストを尽くすためのメンバーに期待する	顧客意識

『幸せなチームが結果を出す ウェルビーイング・マネジメント7か条』

■ポーラショップへの調査でわかった、「幸福度と成果共に高いオーナー」と「幸福度は高いが成果が低いオーナー」の違いを5つのポイントでまとめた表が、読者から特に人気です。(画像右)

■ポーラ幸せ研究所が見出した「幸せなチームづくり7か条」

- ①対話する・目をつむらない
- ②ジャッジしない・正解を求めない
- ③執着しない・リセットする
- ④任せる・委ねる・頼る
- ⑤経験を教訓にする
- ⑥相手を変えるのではなく自分が変わる
- ⑦愛のループを自分から始める

定価 ¥1,650 (10%税込) / 発行：日経BP 2023年9月19日 発行 ISBN 978-4-296-20329-1

■著者

前野マドカ (まえのまどか)

EVOL株式会社 代表取締役CEO。ポーラ幸せ研究所アドバイザー。一般社団法人ウェルビーイングデザイン理事。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科付属S DM研究所研究員。国際ポジティブ心理学協会会員。パートナーで幸福学研究の第一人者である慶應義塾大学大学院教授の前野隆司氏との共著書に『ウェルビーイング』(日経文庫)など。

及川美紀 (おいかわみき)

株式会社ポーラ 代表取締役社長。ポーラ幸せ研究所 所長。1991年株式会社ポーラ化粧品本舗(現株式会社ポーラ)入社。子育てをしながら30代で埼玉エリアマネージャーに。2009年商品企画部長。2012年に執行役員、2014年に取締役就任。商品企画、マーケティング、営業などバリューチェーンをすべて経験し、2020年1月より代表取締役社長(トータルビューティー事業本部長兼務)。誰もが自分の可能性をひらくことができる社会をミッションに、パーパス経営・ダイバーシティ経営を牽引している。